

函館～山の頂で～～

2022.6.15 島田祥生



13日の夕方、長万部から函館駅に着いて函館山を見たら、無性にてっぺんをうろうろしたくなった。

次の日は予定があったので、翌々日の15日、早く行けばゆっくりできると、

8時半にロープウェイの乗り場に着いたが、妙に静か。

運行は、11時半からとの看板が、

前回は運行停止で、車道を登ったが、5合目で時間切れ。

体調もよかったので、えい！登山道を登ってみよう！！小学生の時以来だ！





護国神社の裏手に登山口がある。またの名を旧登山道

小学生の頃は、今の自動車道はなく、山頂へは狭いこの道だけ。

写真の登り口は、ショートカットの道。

登山口に、台風15号で遭難した、洞爺丸以下5隻の青函連絡船の慰霊碑がある。



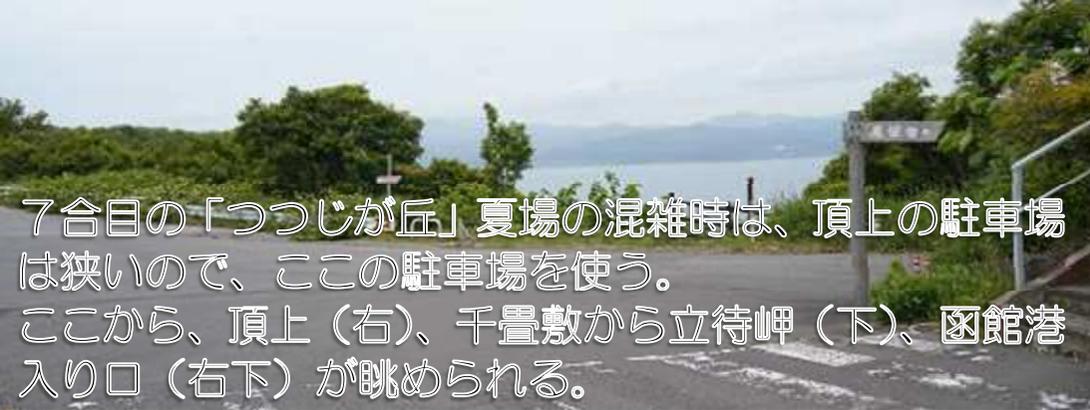


途中、2カ所ほど「車道」を横切る

早朝にも拘らず、下山してくる人に、頻繁に出会う。体力づくりに、格好のコースのようだ。この道を軍用トラックが通った。



ようやく5合目地藏尊が目につく



この花
なんの花
気になる花

アジサイでは
ないようだ



ようやく頂上へ 2時間かかったが
ロープウエーはまだ運行していない。

撮影スポットには早くも観光客の姿が



博物館になって
いる
旧青函連絡船の
摩周丸が望める

ドックには、
大型船が2隻。





つつじが丘に戻り、
旧砲台跡を見る。
2基の高射砲の台座跡
が3組。

小学生の頃は、山頂にもこ
のような台座跡が沢山あっ
た。
空襲で、青函連絡船は全滅
その時既に、高射砲は撤去
されていたとの噂もあっ
たが、さて。



函館山の裏側、津軽海峡に面した絶壁。
天気がよければ、対岸の下北半島が見える。





函館山の左端の千畳敷
その先に
、海上保安庁受信所と、
NTT 無線中継所
遮るものがない、格好の立地

津軽海峡の太平洋側の出口が、
かすかに望まれる



千畳敷の見晴台

お天気がよければ
市街地越しに、
函館の后背の横津連山が
見えるはずだが、こちら
は、ガスっていて残念。





山頂に戻る途中の
「牛の背見晴所」から、
かすかに三森山が見えた

牛の背は、函館山が牛が寝そべっている
ような姿からの別称「臥牛山」にちなむ



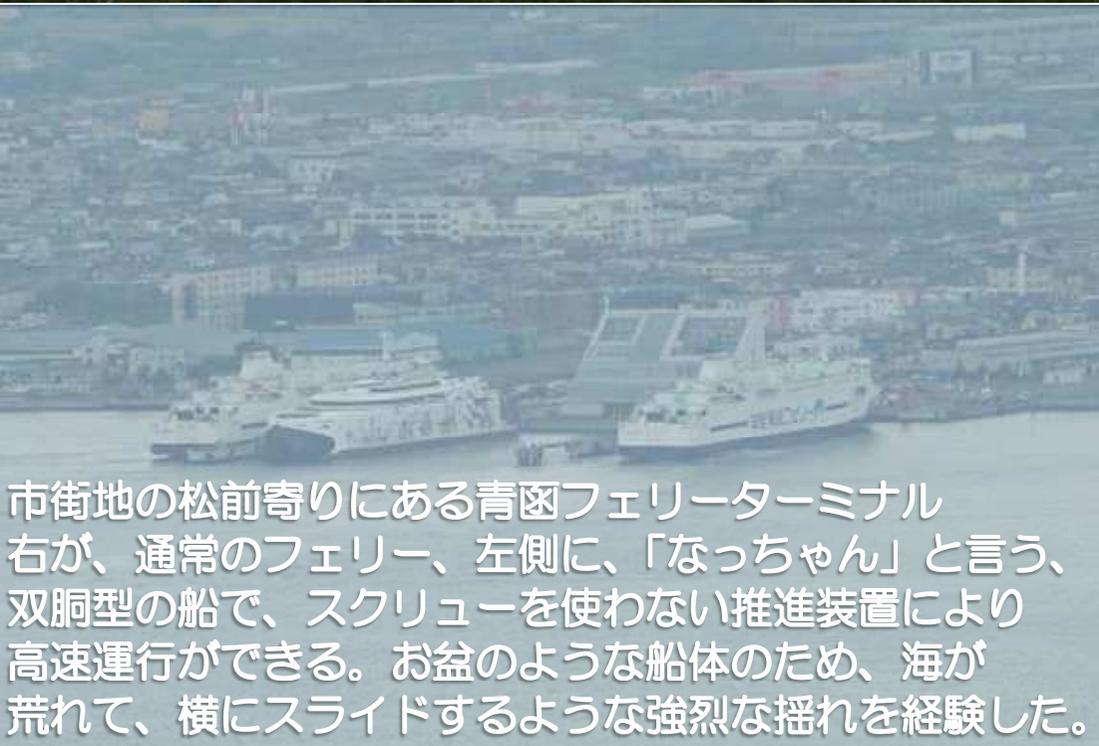
散策の集団に行き会う
こんな花がりっぱな木に。しばし見とれていた数人。
置いていかれそうになっていたが、本当に楽しそう



お昼過ぎに、山頂に戻った
後ろの山はガスで見えない。



いつの間にか、摩周丸の横に
クルーズ船が接岸していた。



市街地の松前寄りにある青函フェリーターミナル
右が、通常フェリー、左側に、「なっちゃん」と言う、
双胴型の船で、スクリューを使わない推進装置により
高速運行ができる。お盆のような船体のため、海が
荒れて、横にスライドするような強烈な揺れを経験した。



山頂のテレビ送信所
NHK,HBC（北海道放送）,TVH（テレビ北海道）

山頂より、つつじが丘を經由し、
函館ドックに下る道を通ることにした。
いきなりの急坂



道端には
フタリシズカ
エンレイソウ
(花は終わりで残念)
などが茂っている



急な「山道」を下りると、「稱名寺」の墓地に出た。
境内に土方歳三と新撰組隊士の供養碑があった。



土方・河野供養碑、高田屋一族の墓

土方歳三と新撰組隊士の供養碑

土方歳三(新撰組副長)は、榎本軍に加わり、函館で戦死した。その場所は一本木(若松町)、鶴岡町、異国橋(十字街)など諸説があるが、土方ゆかりの東京都日野市金剛寺の過去帳には、函館称名寺に供養碑を建てた、と記している。

称名寺は、明治期の大火で3回も焼けて碑は現存しないため、昭和48年(1973年)に有志が現在の碑を建立した。他の4名は新撰組隊士で、称名寺墓地に墓碑があったが、昭和29年(1954年)の台風で壊されたため、この碑に名を刻んだ。

こうのかがのみまさみち

河野加賀守政通の供養碑

河野政通は伊予(愛媛県)の出で、享徳3年(1454年)に渡来し、今の基坂の上に館を築いた。この辺はアイヌ語でウスケシ(湾の端の意)といったが、この館が箱の形をしていたのでハコダテの地名が生まれたといい、明治2年(1869年)までは「箱館」と書いた。

永正9年(1512年)、子・季通の時アイヌに攻められ館は陥落した。

この碑は、宝暦3年(1753年)に松前藩の亀田奉行が建て、表面に「箱館高峰院殿加屋凌雲大居士 神儀」と刻み、裏面に碑文がある。

高田屋嘉兵衛一族の墓

高田屋嘉兵衛は明和6年(1769年)淡路島に生まれ、廻船を業とし、寛政10年(1798年)、箱館大町に支店を設けた。以来、弟・金兵衛と力を合わせ、千島エトロフの開発と共に、巨富をもって箱館の殖産興業に多大な業績を残した。日露両国間の問題解決に努力したのも有名で、その顕彰碑は観音堂前にある。郷里で没したから墓は淡路にもあるが、金兵衛の系統が函館に住んだので、称名寺にも墓が建てられた。

函館市

The Memorial Monument for Hijikata Toshizo and his Shinsengumi Members

After joining Enomoto Takeaki's army, Hijikata Toshizo (deputy leader of Shinsengumi, the Tokugawa shogunate's special fighting unit) was killed in the Battle of Hakodate. Opinions are divided as to the



稱名寺からほど近い、函館どっく前
電停に着き、本日の行動は無事終了

